



下大和田谷津田だより



2005年5月号

第63回「下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い」報告

4月3日 晴れ

晴れて暖かくなった春の谷津を散策しました。越冬していた虫たち、今春羽化した虫たちもいました。小川にはメダカも水面に出てきていました。林縁では蛇まで見られました。斜面林の緑にコブシが映え、林内ではフデリンドウも咲きだしました。ウグイスの囀りは絶え間なく聞こえていました。帰り際には嘴が黒づんだダイサギも見られました。

開花植物：ハルジオン、セイヨウタンポポ、ノボロギク、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、キランソウ、カキドウシ、キュウリグサ、フデリンドウ、タチツボスミレ、カラスノエンドウ、カタバミ、ヘビイチゴ、ナズナ、タネツケバナ、ケキツネノボタン、タガラシ、オランダミミナグサ、コハコベ、ノミノフスマ、スズメノカタビラ、シュンラン、コブシ、ヤナギsp2種、スギナ（ツクシ）。

昆虫：モンシロチョウ、キチョウ、キタテハ、ムラサキシジミ、シジミチョウsp、オオミノガ蓑、チャミノガ蓑、イトトンボsp、カゲロウsp、ツチイナゴ、ヒシバツタ、トゲヒシバツタ、ウズラカメムシ、ヤニサシガメ幼虫、ヨコズナサシガメ幼虫、アメンボ、ミイデラゴミムシ、ナナホシテントウ。

野鳥：ツグミ、ダイサギ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、モズ、セグロセキレイ、カシラダカ、アオジ、ウグイス、ヒヨドリ、ハシブトガラス。

その他：コモリグモsp?、ハエトリグモsp、メダカ、ヨコエビ、マルタニシ、オオタニシ、カワニナ、マシジミ、ニホンアカガエルとオタマジャクシ、シュレーゲルアオガエル（声）、ヘビsp。

（参加者：大人8人子ども2人；報告：網代春男）

第47回谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP)

「みんなでわいわい田起こし」

4月24日 晴れ

快晴、しかも暑くなく絶好の田起こし日和に恵まれました。初めての方、年配の方から小さな子どもまで、みんなでぎやかにクワをふるいます。泥に足を取られたり、クワが抜けなくなったり、最初はなかなかうまく進みませんが、服も顔も泥んこになる頃にはずいぶん上達し、午前中には3畝のコシヒカリ田んぼを起こし終えました。田んぼの周りの草を刈り、畦も補修して、きれいな田んぼになりました。午後は起こさずに田植えをするカヤネズミ田んぼの草取りです。地をはってじゅうたんのようにはびこった草を抜くのは予想をはるかに超えた大変さ。鎌やスコップそして力づくではぎ取ったので、最後はみんな握力がなくなるほどでした。そのお陰で、こちらもさっぱりした田んぼに変身して、田植えの準備が完了しました。

田を起こしていると、すごい数のクモ、メダカ、アカガエルのオタマジャクシ、そして小さなミジンコなどいっぱい見られます。水路では今まさに羽化しているヤマサナエを見つけたり、アカガエルのオタマジャクシの白化個体（アルビノ）が何匹か泳いでいたり、発見もいっぱいでした。

（参加者：大人21人・小中学生7人・乳幼児5人、報告：高山邦明）

下大和田季節のたより

3月31日 休耕田のヤブの木に珍鳥アライが止まっているのを確認（越川）。

4月9日 冬場を過ごしていたアサギやアカガが旅立ち前にさえずりの練習をしていた。アライもアサ原周辺で大きな声で鳴いていた。畦ではサスレが咲き始める（高山）。

4月14日 サバの飛来を確認（越川）。

4月24日 今年もU字溝の水路でヤマサナエが多数羽化。シオトホも姿を見せ始める（高山）。

4月29日 コシカ田んぼにコチドリ姿を確認（網代）。

田起こし、そして、コシカや古代米の田植えと下大和田は6月まで農繁期です。大変な作業ですが、田んぼの中をスイスイ泳ぐメダカや畦の花畑を見ると心がなごみ、元気が出てきます。田んぼの豊かな自然は、昔から作業をする農家の方にこうして力を与えてきたのだらうと思います。

高山邦明